
開講科目名：行政法研究（B）（2単位）
開設年次：1年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：門脇 美恵

《授業の概要》

【授業の目標】

この講義では、誤った行政活動の是正を求め、または行政活動により侵害された国民の権利利益の救済を求めるための法制の全体像を理解することを目標とします。

＜学習成果＞

◆知識・理解の領域

行政救済法の体系を理解し、国家補償および行政争訟の諸制度について、それぞれの種類と存在意義を理解することができる。

◆技能の領域

行政救済の諸制度の違いを専門用語を用いて簡潔な言葉で説明できる。

◆態度・志向性の領域

テレビや新聞等で報道される行政事件に関心を持つことができる。

【授業の概要】

行政は法律に従って適法に行われるのが原則です。しかし、現実には、違法または不当な行政活動等によって（ときには適法な行政活動によっても）、私たちの権利利益が侵害されることがあります。そのようなとき、国民の権利利益の保護と適正な行政運営の確保のために、私たちはどのような法制度を使うことができるのでしょうか？「行政法研究（B）」の授業では、この点を詳しく学びます。

【質問への対応】

授業時間内またはオフィスアワーにおいて対応します。

【評価方法】

授業中に2回実施する確認テスト(100%)。確認テストは期末試験に準じた取り扱いを行いますので、追試の実施は特別欠席その他これに準じた正当な理由に限り、証明書を要します（特別欠席に該当しない病欠の場合は診療費請求書等の証明できる書類）。

【課題等についてのフィードバック】

授業中に実施した課題及び確認テストについては、課題実施後または次の授業で講評・解説等を行います。

【出欠に関する注意点】

6回以上の欠席で失格となります。遅刻は2回で欠席1回として扱います。授業開始時刻を過ぎたら、原則遅刻となります。

【授業計画】

- 1 はじめに～行政救済法とは何か～
- 2 国家賠償法制の歴史
- 3 国家賠償法1条(1)「公権力の行使」
- 4 国家賠償法1条(2)「公務員」「職務」
- 5 国家賠償法1条(3)「過失」「違法」
- 6 国家賠償法2条(1)「公の営造物の設置又は管理」の「瑕疵」（道路）
- 7 国家賠償法2条(2)「公の営造物の設置又は管理」の「瑕疵」（河川）
- 8 確認テスト
- 9 行政不服申し立て(1)制度の目的と特徴
- 10 行政不服申し立て(2)審理の種類とプロセス
- 11 行政事件訴訟(1)制度の目的と特徴
- 12 行政事件訴訟(2)訴訟の種類とプロセス

- 13 行政事件訴訟(3)処分性
- 14 行政事件訴訟(4)原告適格
- 15 確認テスト

【予習・復習】

1回の授業についての予習・復習は、各1時間程度を目安とします。

《テキスト》

指定しません（授業ではプリントを配布します）。

授業で扱ったテーマをより深く学びたい人は、下に挙げる参考書のうち、自分にあったレベルのものを選んで、自主学習に役立ててください（まずは初級からをお勧めします）。

《参考書》

基本書

（初級）

- ・石川敏行ほか『はじめての行政法〔第4版〕』（有斐閣、2018年）
- ・高橋滋ほか『行政法Visual Materials』（有斐閣、2014年）

（中級～）

- ・市橋克哉ほか『アクチュアル行政法〔第二版〕』（法律文化社、2014年）
- ・岡田正則ほか『判例から考える行政救済法』（日本評論社、2015年）

判例集

（初級）

- ・『法律入門 判例まんが本 行政法の判例100』（辰巳法律研究所、2008年）

（中級～）

- ・『行政判例百選1・2(第7版)』（有斐閣、2017年）